

LEDスポットライト(フランジタイプ)

(天井・壁付兼用型)

使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。 この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

:器具の取り付け工事は必ず電気工事店(有資格者)にご依頼ください。

一般の方の工事は法律で禁じられています

工事店様へ:工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

▮仕様

光源•配光•光色	定格電圧	消費電力
LED 23.6W(ミディアム配光・昼白色相当)		
LED 23.6W(ミディアム配光・白 色相当)		
LED 23.6W(ミディアム配光・電球色相当)	AC100V	23.6 W
LED 23.6W(ワイド配光・昼白色相当)	(±6%)	23.0 VV
LED 23.6W(ワイド配光・白 色相当)		
LED 23.6W(ワイド配光・電球色相当)		
	LED 23.6W(ミディアム配光・昼白色相当) LED 23.6W(ミディアム配光・白 色相当) LED 23.6W(ミディアム配光・電球色相当) LED 23.6W(ワイド配光・昼白色相当) LED 23.6W(ワイド配光・白 色相当)	LED 23.6W(ミディアム配光・昼白色相当) LED 23.6W(ミディアム配光・白色相当) LED 23.6W(ミディアム配光・電球色相当) LED 23.6W(ワイド配光・昼白色相当) LED 23.6W(ワイド配光・白色相当)

※1回路の最大接続台数は22台までです。(調光器未接続・定格15A配線器具使用時)

オプション (別売)

品名	仕 様	適合器具
TG-397	スプレッドレンズ	SD-4433-N/W/L~SD-4436-N/W/L

■ この取扱説明書のマ-クについて

説明書中の警告は重大な人身事故の原因となる危険を示します。 警告

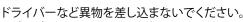
⚠ 注意 説明書中の注意は物損及び障害事故の原因となる危険を示します。

このマークについている説明文は、必ず守ってください。

このマークについている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

取り付け・取扱い上の注意

- -般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。
 - ★感電事故や漏電の原因となります。
- LED光源を長時間直視すると目を傷めることがあります。
 - ★十分にご注意ください。
- 次のような場所には取り付けないでください。
 - ●補強材の無い場所への取り付け(ボックスに取り付ける場合を除く)
 - ●樹脂製ボックスカバーへの取り付け(埋め込みボックスに取り付ける場合は、必ず金属製ボックスカバーに取り付けてください。)
 - ●石膏ボードなど弱い建材面・凹凸のある面への取り付け
 - ★いずれの場合も器具の落下による器具、その他の破損やケガの原因となります。
 - ●サウナへの使用
 - ★器具の破損によるケガや漏電、感電事故の原因となります。
- 取り付け方向が指定されている器具は、取扱説明書および本体表示にしたがって、正しい方向に取り付けてください。
- ★指定以外の方向に取り付けると、火災や感電、器具落下によるケガの原因となります。
 - 器具を布などで覆わないでください。
 - 寿命低下の原因となります。



器具の改造や構成部品の変更、 改造はしないでください。



★火災や感電事故の原因となります。

濡れた手で触らないでください。 ★感電の原因となります。



★感電事故の原因となります。

★加熱して、発煙・発火やLED光源

照明器具には寿命があります。設置後、通常のご使用で8~10年後には外見に異常が無くても内部劣化が進んでおります。 点検・交換をお勧めします。※通常の使用条件とは周囲温度30℃、年間3000時間点灯です。(JIS C8105-1 解説による) 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。

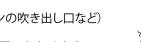
必ず定格電圧で使用してください。

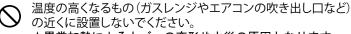
- ★定格電圧より高い電圧で使用すると、加熱し、火災の原因となることがあります。
- ★定格電圧以外で使用した場合、器具寿命が短くなることがあります。
- この器具は周囲温度5℃~35℃の中で使用してください。
 - ★加熱して、発煙や発火、光源ユニット寿命短縮の原因となります。

▲ 注 意 (前頁続き)・

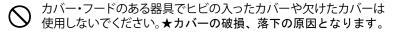
調光器(ライトコントロール)と組合せる場合は、指定の器具を で使用ください。(調光器適合表を参照してください。)

★不良点灯や調光器、照明器具の故障または火災の原因となります。





★異常加熱によるカバーの変形や火災の原因となります。



殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。 ★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。 点灯中や消灯直後の光源ユニット, 器具内には触らないでください。 ★火傷の原因となります。



- ●同品名商品のLED光源でも色・明るさに多少バラ つきがある場合があります。予めご了承ください。
- ●照射距離が近い場合や照射面によっては光ムラが 気になる場合があります。予めご了承ください。
- ●他の電気機器からの影響による電源電圧の変動に よりちらつく事があります。予めご了承ください。

調光器(ライトコントロール)と組合せる場合は、指定の器具をご使用ください。 調光器適合表 ★不適合な調光器は故障または火災の原因となります。

調光器名称[ルートロン]	インターフェース名称	1回路当たりの最大接続数	
マエストロ(正位相制御)	マルチパワーモジュール	14台	
グラフィックアイ QS	マルチパワーモジュール	14台	

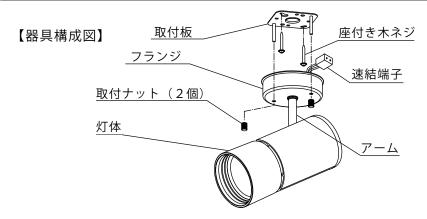
最新情報は山田照明ホームページにてご確認ください。

〈使用上のご注意〉

他の電気機器からの影響による電源電圧の変動によりちらつく事があります。あらかじめ ご了承ください。

(説明図は、一部を省略抽象化した図です。) 各部の名称

(不足している部品があった場合は、お買い上げ店または山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。)



【付属品】

座付き木ネジ・・・2本 (取付金具用)



取扱説明書・・・1枚 (本書)



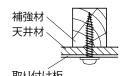
保証とアフターサービス について (別紙)・・1枚

取り付け場所の確認

҈ዂ警告

付属の座付き木ネジで取り付ける場合、必ず補強材のある場所に取り付けてください。 ★補強材の無い場所に取り付けた場合、器具の落下事故の原因となります。

★ボックスに取り付ける場合は、別途ボックス止め用のネジをご用意ください。





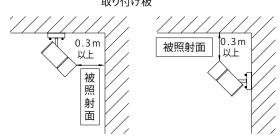


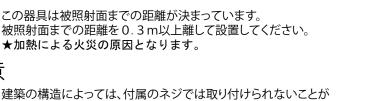




建築の構造によっては、付属のネジでは取り付けられないことが まれにあります。このような場合には、器具取り付け場所の

構造を確認の上、適当な長さの木ネジにて取り付けてください。





速結端子

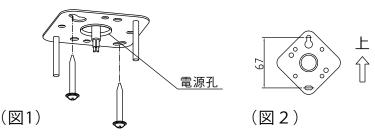
取り付け方

∧注意

♪必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

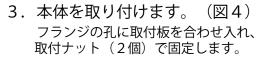
҈警告

- ↑ 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行なってください。
- ★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。
- 端子に差し込むケーブルは、必ず φ 1.6 または φ 2.0 の単線ケーブルでまっすぐな線を使用してください。
 ★指定以外のケーブルや曲がった芯線、汚れた芯線の使用は、接触不良による火災や感電事故の原因となります。
- ●器具を取り付ける前に 取付ナットをはずして、本体をはずします。
- 1. 取付板を取り付けます。(図1)
 - ①電源線を取り付け板の電源孔に通します。
 - ②付属の座付き木ネジで取付板を固定します。



⚠注意

- ・壁面に取り付ける場合 図の方向で取付板を設置してから取り付けてください。(図2)
- 2. 電源線を接続します。(図3) 電源線を電源差し込み穴に差し込みます。
 - ※電源線をはずす場合は、幅6mmのマイナスドライバーをはずし穴へまっすぐ差し込みます。



⚠注意 🛛

0

取付ナットは確実に締め込んでください。 ★落下事故の原因となります。



はずし孔

照射角度の調節方法

▲注意

♪必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

●この器具は、角度を調整できます。灯体をつかんでゆっくりと角度を調節してください。

可動範囲 上下可動範囲 水平可動範囲 350°

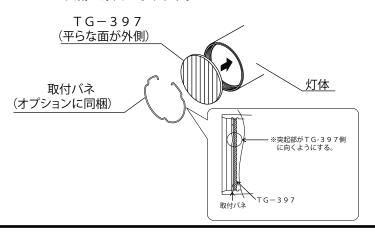
●オプション: TG-397(別売)取り付け方法

バネの突起部をアクリ面に向け、灯体の溝にはまる様にしっかり固定してください。

★取り付けに不備があると落下の原因となります。

⚠注意

- ●照射角度を調節する場合は必ずスイッチを切って から行ってください。
 - ★感電事故の原因となります。
- ●照射角度を調節する場合は灯体をもってゆっくり 行ってください。
 - ★火傷の原因となります。
- ●点灯中や消灯直後の光源ユニットおよび灯体部品は 熱くなっていますので触らないでください。
 - ★火傷の原因となります。



スイッチ操作

壁スイッチにて「ON-OFF」操作を行います。

お手入れについて ▲注意

● 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

- ●1年に1回はお手入れを行い異常が無いか点検をしてください。 また3年に1回は専門業者・有資格者による点検を依頼してください。
- ★点検を行なわずに長時間使用し続けますと、まれに発煙・発火・感電にいたる恐れがあります。
- こまめに清掃を 照明器具が汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。 定期的に清掃しましょう。 暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

- 0
- ●お手入れをするときには、必ずスイッチを切ってからとりかかってください。
- ★感電事故の原因となります。



- ●スイッチを切った直後の光源ユニットは熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。
- ★火傷の原因となります。
- ●濡れた手で触らないでください。
- ★火傷の原因となります。



- 0
- ●光源ユニットは乱暴に扱わないでください。
- ★光源ユニットの故障の原因となります。
- ●シンナーやベンジンなどの揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
- ★器具に傷をつけたり、変色や変質の原因となります。
- ★カバーの破損、落下の原因となります。

◆光源ユニットについて

- ●LED照明器具の光源寿命※)は、40,000時間です。照明器具の寿命とは異なります。)
 - ※光源寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が初期点灯の70%に下がるまでの 総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

◆お手入れのしかたについて

- 1.スイッチを切ります。
- 2.柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
- 3.汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
- 4.最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。



■ アフターサービスについて